

テーマ：アイヌの人たちの歴史・文化等（実践校）

## 渡島管内 松前町立大島小学校

### ■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、第5・6学年の総合的な学習の時間において、校内にアイヌ文化紹介コーナーを設置するとともに、アイヌ民族文化財団のアイヌ文化活動アドバイザーを外部講師として招聘し、講話や体験的な活動等を通して、アイヌの人たちの歴史や文化等について探究的に学習しました。

### ■ふるさと教育・観光教育の実践内容

#### ①取組の様子

##### (1) 課題の設定

「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用するとともに、社会科等におけるアイヌの人たちの歴史や文化等についての学習などを通して、「アイヌの人たちの文化や生活様式を調べ、自分の生き方について考えよう」という探究課題を設定しました。

##### (2) 情報の収集

アイヌ文化活動アドバイザーの講話を通して、アイヌの人たちはクマを飼っていたことや狩りや漁に使う道具も手作りしていたことなど、アイヌの人たちの生活様式について情報を収集しました。



【講話の様子】

##### (3) 整理・分析

収集した情報を基にして、自分たちとアイヌの人たちの考え方を比較したり、アイヌの人たちのものの見方や考え方のよさを交流したりしました。

##### (4) まとめ・表現

アイヌの人たちの生活様式や文化について、調べたことをまとめ、発表し合うことを通して、アイヌの人たちの歴史や文化等についての理解を深めるとともに、自然との関わりについて自分の考えをまとめることができました。



【交流及び発表の様子】

#### ②児童の感想等

- ・アイヌの人たちの動物への考え方や日常生活の仕方について理解を深めました。そして、もっとアイヌの人たちの文化に触れてみたいと思いました。
- ・アイヌの人たちがクマなどの様々な生き物を大切にしていたことを知り、自分も生き物を大切にしていこうと思いました。

### ■取組の成果（○）と課題（●）

- アイヌの人たちの歴史・文化等に関するアンケートで「自分たちが住んでいる町の歴史や文化、自然に興味・関心がある」と回答した児童の割合が57%から86%、「今、住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童の割合が66%から100%にそれぞれ増加するなど、「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用し、アイヌの人たちの歴史や文化等について学習することを通して、自分たちが住んでいる地域・文化等に対する興味・関心が高まるとともに、郷土に対する愛着や誇りを育むことができました。
- 自分たちの住んでいる町の歴史や文化、自然への興味・関心を更に高められるよう、町の歴史や文化等について探究的に学ぶ「ふるさと学習」を継続して実施するとともに、学習の成果を地域及び保護者に発信する活動を行っていく必要があります。